



からしだね

キリストの受難

カトリック池田教会

共同宣教司牧：畠 基幸神父・松本 一宏神父

協力司祭：デニス・マックゴワン神父

住所：〒563-0041 池田市満寿美町9-26

TEL：072-751-2400 FAX：072-753-4624

URL(ホームページ)：

http://www.wombat.zaq.ne.jp/catholic_ikeda/

2016年
6月号 (517号)



カトリック田園調布教会(東京都大田区田園調布3-43-1) 教会の紹介文は3ページ。

巻頭言：人間って、なんで年とるのん？ …	2	黙想会のお知らせ 宝塚黙想の家から ……	3
カトリック田園調布教会について ……	3	6月のガラスケースのことば ……	3
大人の日曜学校を始めます 研修委員会から	3	表紙写真の撮影	： 栂場久雄

※ 聖堂入り口で配布しているものからの抜粋版です。

完全版(8ページ)をご希望の方は、お近くの広報委員までお問い合わせください。

巻頭言

人間って、なんで年とるのん？

御受難修道会 みことばの家 国井健宏 司祭

毎月「からしだね」を愛読し、「よくやってるなー」と感心しながら、心の中で皆さんを応援しています。そして時々十数年前のことを、ふっと思い出して、心和むことがあります。そんな思い出の一つ。

典礼研修会の名目で、子供たちもまじって若狭湾に行っていた時のことです。夕方の日本海を眺めてポーっとしてベンチに座っていると、幼稚園の男の子が真面目な顔で近付いてきて言いました。「神父さん、聞きたいことがあるねんけど・・・」こんな小さな子にどんな悩みがあるのだろうかといふかりながら、「どうしたの」と尋ねると、その子が言いました。「人間って、なんで年とるのん？」びっくりしてしばらく言葉が出ませんでした。藪から棒、完全に不意を突かれました。この子はソクラテスかプラトンの生まれ変わりか、大人にもうまく説明のできないことをどう子供に納得させることができるのか、わたしの方が悩みました。「神様がそう創られたから、人生とはそういうもの、DNAで決まってるの、人間の死亡率は100%、」などなど。皆さんならどう答えられますか、いい答があれば教えてください。

やっと我を取り戻して、逆に尋ねました。「なんでそんなこと聞くの？」彼の答え。「だって僕のおじいちゃんゆうたらな、いつともヨイショ、ドッコイショ、ヤレヤレ、みたいなことばかりゆうてんねん。」多分この子の悩みは、大好きなおじいちゃんが年を取って弱っていくが残念だったのでしょうか。いつまでも元気でいてほしい、いつしよに話したり、遊んだりしてほしい、年を取らないでほしい、という願望だったのでしょうか。子どもなりのおじいちゃんへの大きな愛と思いやりに満ちた問いかけだったのかなど、後になって思い返しています。

ところで教会の典礼暦は四旬節・復活節を終わって年間に入りました。典礼季節としてはこれから待降節まで、主日が中心になります。イエス様が復活によって「主」となられた日を祝う、毎日曜日がいわば毎週の小復活祭です。この神秘、つまり神様の働き(過越しの神秘)はあまりにも広く、大きく、豊かなものなので、私たちは

それを典礼季節に分け、主の受難・死・復活・昇天・聖霊降臨、といくつかの段階に分けて祝ってきました。でもそれらはばらばらの出来事ではなく、一つの「キリストの神秘」の際立った側面です。全体が一つのつながりです。主の昇天だけを考えると、イエス様が御父のもとに帰って行かれた、「手を上げて弟子たちを祝福しながら天に昇って行かれた」と表現されていますが、それは「また来るからね、バイバイ」という別れではないのです。

イエス様が天に昇られたのは、私たちから離れることではなく、いわば地から天への橋となってくださったということだと思います。天に昇られたイエス様は私たちのもと近くにおられます。「救い主の目に見える大切な面は、秘跡の中に移って行った」と大聖レオ(5世紀の教皇)は教えています。主の昇天は、イエス様が私たちから離れて行かれる姿で示されますが、実はもつと私たちの近くにおられるのです。ご聖体に現存し、主の食卓で私たちを養い、カナの結婚式のように結婚を祝福し、病気の人をいやし(病者の塗油)、罪を赦し、数々の秘跡を通して働いておられます。また貧しい人、苦しむ人たちに寄り添い、ともに苦しんでおられます。こうしてイエス様は御父への道となってくださりました。「わたしは道であり、真理であり、命である、」「わたしによらなければ誰も父のもとに行けない」と。

言ってみれば、イエス様は昇天によって天に続く橋となってくださりました。天の故郷への高速道路の開通です。この道を走る力は、人間のものではなく聖霊の働きです。4世紀の聖バジリオという有名な教父が教えています。「聖霊によって心は高みへと引き上げられ、弱い者は手を引いて導かれ、進歩する者は完成される。聖霊は、汚れを洗い清められた者を照らし、交わりを通して、彼らを霊的なものとしてくださる。」私たちは天の故郷への道の階段を「ヨイショ」「ドッコイショ」と言いながら、実は聖霊に力づけられ、照らされ、励まされながらひたすら歩んでいけばいいのです。

表紙のカトリック田園調布教会について

住所：東京都大田区田園調布3-43-1

田園調布教会は、1931年にカナダ・フランシスコ会の宣教師によって創立された。同年に、現在地にフランシスコ修道院が建築され、1936年管区長館が鹿児島から東京に移り、東京での宣教活動は一層強化された。現在、東京教区内でも、3番目に信者数の多い教会に発展した。

現在の聖堂は1955年に建てられたもので、建物一階はホールと会議室等、二階が500人収容の大聖堂となっている。敷地内にフランシスコ会の修道院があり、常時4～5名の司祭、修道士がおり、その司牧を受け、教会委員会を中心に、典礼、財務・財政、召命、広報、環境、福音宣教等の委員会活動や地区家庭集会、聖歌隊、教会学校、ボーイ・ガールスカウト等の活動が行なわれている。住宅地に存在するこの教会には子供や青年が多いこと、また家族信者の多いことが特徴である。司牧にあたる数名の司祭の年齢も若く、活気にあふれた教会である。現在の司牧活動では特に、聖書、教理、回勅類の勉強会が活発で、信徒の養成に力が入られている。

(<http://tokyo.catholic.jp/archdiocese/church/tokyo/16183/> より)

6月26日(日)ミサ後

福音書：ルカ 9の51-62

7月24日(日)ミサ後

場所：カール記念館2階和室

研修委員会

黙想会のお知らせ

宝塚黙想の家から

■日帰り黙想会

6月16日(木) 10:00～15:30

指導：山内十束神父

6月17日(金) 10:00～15:30

指導：山内十束神父

■御受難祈りの会

6月10日(金) 14:00～15:30

指導：ウオード神父

■週末黙想会

6・7・8月はお休みです。



各黙想会、費用等のお問い合わせは

「宝塚黙想の家」まで。☎0797(84)3111

お知らせ 「大人の日曜学校」を開始

主日の福音をもう一度読み直し、黙想し、神様からのメッセージをご自分なりに受け止め、新たな一週間をスタートしませんか？

研修委員会は第4日曜日のミサのあとカール記念館で「大人の日曜学校」を始めます。研修委員が司会進行を務め、主日の福音を参加者みんなで味わいます。

どなたでもご参加いただけます。所要時間は30～40分です。

日時：5月29日(日)ミサ後

福音書：ルカ 9の11b-17

編集後記

このたびの熊本地震で、被災された兄弟・姉妹の皆様お見舞い申し上げます。

「地震」と聞くと、21年前に体験した阪神淡路大震災が甦る。わずか数秒の揺れが、とてつもなく長く感じられた瞬間だった。その後、緊急時に必要そうな物をリュックサックに詰め、毎年1月中旬頃中身の点検をしている。しかしそのリュックサックが曲者で、いざという時持ち出せるか不安なのです。

天使の微笑

6月のガラスケースのことば

兄弟愛をもって互いに愛し、
尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい。

ローマ 12-10